

株式取扱規則

(2022年9月1日現在)

 三井倉庫ホールディングス株式会社

三井倉庫ホールディングス株式会社

株 式 取 扱 規 則

第1章 総 則

(目的)

第1条 当会社の株式に関する取扱いおよび手数料ならびに株主権行使の方法等については、株式会社証券保管振替機構(以下「機構」という。)および株主が振替口座を開設している証券会社等の口座管理機関(以下「証券会社等」という。)が定めるところによるほか、定款の規定に基づきこの規則の定めるところによる。

(株主名簿管理人)

第2条 当会社の株主名簿管理人および同事務取扱場所は次のとおりとする。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

第2章 株主名簿への記録等

(株主名簿への記録)

第3条 株主名簿記載事項の変更は、総株主通知等機構からの通知(社債、株式等の振替に関する法律(以下「振替法」という。)第154条第3項に規定された通知(以下「個別株主通知」という。))を除く。)により行うものとする。

2 前項のほか、新株式発行その他法令に定める場合は、機構からの通知によらず株主名簿記載事項の記録または変更を行うものとする。

3 株主名簿は、機構が指定する文字・記号により記録するものとする。

(株主名簿記載事項に係る届出)

第4条 株主は、その氏名または名称および住所を機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更があった場合も同様とする。

(法人の代表者)

第5条 株主が法人であるときは、その代表者1名を機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更があった場合も同様とする。

(共有株主の代表者)

第6条 株式を共有する株主は、その代表者1名を定め、共有代表者の氏名または名称および住所を機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更があった場合も同様とする。

(法定代理人)

第7条 株主の親権者および後見人等の法定代理人は、その氏名または名称および住所を機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更および解除があった場合も同様とする。

(外国居住株主等の通知を受けるべき場所の届出)

第8条 外国に居住する株主またはその法定代理人は、日本国内に常任代理人を選任するか、または日本国内において通知を受けるべき場所を定めなければならない。

2 前項の常任代理人の氏名もしくは名称および住所または通知を受けるべき場所は、機構の定めるところにより証券会社等および機構を通じて届け出るものとする。変更および解除があった場合も同様とする。

(機構経由の確認方法)

第9条 当会社に対する株主からの届出が証券会社等および機構を通じて提出された場合は、株主本人からの届出とみなすものとする。

(登録株式質権者)

第10条 登録株式質権者には本章の規定を準用する。

第3章 株主確認

(株主確認)

第11条 株主(個別株主通知を行った株主を含む。)が請求その他株主権行使(以下「請求等」という。)をする場合、当該請求等を本人が行ったことを証するもの(以下「証明資料等」という。)を添付し、または提供するものとする。ただし、当会社において本人からの請求等であることが確認できる場合はこの限りでない。

2 当会社に対する株主からの請求等が、証券会社等および機構を通じてなされた場合は、

株主本人からの請求等とみなし、証明資料等は要しない。

3 代理人により請求等をする場合は、前 2 項の手続きのほか、株主が署名または記名押印した委任状を添付するものとする。委任状には、受任者の氏名または名称および住所の記載を要するものとする。

4 代理人についても第 1 項および第 2 項を準用する。

第 4 章 書面交付請求および異議の申述

(書面交付請求および異議の申述の方法)

第 12 条 会社法第 325 条の 5 第 1 項に規定された株主総会参考書類等の電子提供措置事項を記載した書面の交付の請求（以下「書面交付請求」という。）および同条第 5 項に規定された異議の申述をするときは、書面により行うものとする。ただし、書面交付請求を証券会社等および機構を通じてする場合は、証券会社等および機構が定めるところによるものとする。

第 5 章 少数株主権等の行使手続

(少数株主権等の行使手続)

第 13 条 振替法第 147 条第 4 項に規定された少数株主権等を当会社に対して直接行使するときは、署名または記名押印した書面により、個別株主通知の受付票を添付して行うものとする。

(株主提案議案の株主総会参考書類記載)

第 14 条 株主総会の議案が株主の提出によるものである場合、会社法施行規則第 93 条第 1 項により当会社が定める分量は次のとおりとする。

1) 提案の理由

各議案ごとに 400 字

2) 提案する議案が取締役、監査役または会計監査人の選任に関する議案の場合における株主総会参考書類に記載すべき事項

各候補者ごとに 400 字

第 6 章 単元未満株式の買取り

(単元未満株式の買取り請求の方法)

第 15 条 単元未満株式の買取りを請求するときは、機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて行うものとする。

(買取価格の決定)

第 16 条 買取請求の買取単価は、買取請求が第 2 条に定める株主名簿管理人事務取扱場所に到達した日の東京証券取引所の開設する市場における最終価格とする。ただし、その日に売買取引がないときまたはその日が同取引所の休業日に当たるときは、その後最初になされた売買取引の成立価格とする。

2 前項による買取単価に買取請求株式数を乗じた額をもって買取価格とする。

(買取代金の支払)

第 17 条 当社は、前条により算出された買取価格から第 26 条に定める手数料を控除した金額を買取代金とし、当社が別途定めた場合を除き、機構の定めるところにより買取単価が決定した日の翌日から起算して 4 営業日目に支払うものとする。ただし、買取価格が剰余金の配当または株式の分割等の権利付価格であるときは、基準日までに買取代金を支払うものとする。

2 買取請求者は、その指定する銀行預金口座への振込またはゆうちょ銀行現金払による買取代金の支払を請求することができる。

(買取株式の移転)

第 18 条 買取請求を受けた単元未満株式は、前条による買取代金の支払または支払手続を完了した日に当社の振替口座に振替えるものとする。

第 7 章 単元未満株式の買増し

(単元未満株式の買増請求の方法)

第 19 条 単元未満株式を有する株主が、その有する単元未満株式の数と併せて単元株式数となる数の株式を売り渡すことを請求(以下「買増請求」という。)するときは、機構の定めるところにより、証券会社等および機構を通じて行うものとする。

(自己株式の残高を超える買増請求)

第 20 条 同一日になされた買増請求の合計株式数が、当社の保有する譲渡すべき自己株式数(特定の目的で保有している自己株式数を除く。)を超えているときは、その日におけるすべての買増請求は、その効力を生じないものとする。

(買増請求の効力発生日)

第 21 条 買増請求の効力は、買増請求が第 2 条に定める株主名簿管理人事務取扱場所に到達した日に生じるものとする。

(買増価格の決定)

第 22 条 買増単価は、買増請求の効力発生日の東京証券取引所の開設する市場における最終価格とする。ただし、その日に売買取引がないときまたはその日が同取引所の休業日に当たるときは、その後最初になされた売買取引の成立価格とする。

2 前項による買増単価に買増請求株式数を乗じた額をもって買増価格とする。

(買増株式の移転)

第 23 条 買増請求を受けた株式数に相当する自己株式は、機構の定めるところにより、買増請求をした株主が証券会社等を通じて、買増代金として買増価格に第 26 条に定める手数料を加算した金額が当会社所定の銀行預金口座に振り込まれたことを確認した日に、買増請求をした株主の振替口座への振替を申請するものとする。

(買増請求の受付停止期間)

第 24 条 当会社は、毎年次に掲げる日から起算して 10 営業日前から当該日までの間、買増請求の受付を停止する。

- 1) 3 月 31 日
- 2) 9 月 30 日
- 3) その他機構が定める株主確定日等

2 前項にかかわらず、当会社が必要と認めるときは、別に買増請求の受付停止期間を設けることができるものとする。

第 8 章 特別口座の特例

(特別口座の特例)

第 25 条 特別口座の開設を受けた株主の本人確認その他特別口座に係る取扱いについては、機構の定めるところによるほか、特別口座の口座管理機関が定めるところによるものとする。

第 9 章 手数料

(手数料)

第 26 条 第 15 条の単元未満株式買取請求および第 19 条の単元未満株式買増請求に係る手数料は、次のとおりとする。

無 料

第10章 総株主通知の請求または情報提供請求に係る正当な理由

(総株主通知の請求に係る正当な理由)

第27条 当社が総株主通知を請求することができる場合として振替法第151条第8項に規定する正当な理由は以下のとおりとする。

- 1) 法令、上場規則、定款その他の規則(以下「法令等」という。)に基づき、株主等に対して通知をするために必要があるとき。
- 2) 法令等に基づき、株主等に関する情報を公表し、または官公署もしくは証券取引所に提供するために必要があるとき。
- 3) 振替株式の株主共通の利益のためにする行為をしようとするとき。
- 4) 上場廃止、免許取消その他当社または株主に、損害をもたらす恐れがある事態が生ずるのを避けるために必要があるとき。
- 5) 前各号のほか、当社の取締役会が、株主共同の利益のために、一定の日における株主またはその株式保有状況を確認する必要があると合理的に判断したとき。

(情報提供請求に係る正当な理由)

第28条 当社が情報提供請求をすることができる場合として振替法第277条に規定する正当な理由は以下のとおりとする。

- 1) 株主等の同意があるとき。
- 2) 株主と自称する者が、株主であるか否かを確認する必要があるとき。
- 3) 株主が、株主権の行使に必要な要件を充足しているか否かを確認するために必要があるとき。
- 4) 法令等に基づき、株主等に関する情報を公表し、または官公署もしくは証券取引所に提供するために必要があるとき。
- 5) 上場廃止、免許取消その他当社または株主に、損害をもたらす恐れがある事態が生ずるのを避けるために必要があるとき。
- 6) 前各号のほか、当社の取締役会が、株主共同の利益のために、特定の株主の当社の株式等の取得、保有、譲渡もしくは処分の有無、時期その他の内容、またはかかる株式等の数等を把握する必要があると合理的に判断したとき。

以上